

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和8年度～令和12年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（こよしがわ） 子吉川森林計画区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 由利森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、秋田県の南西部に位置する由利本荘市、にかほ市の2市に所在する約23千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は、東と南を山地に囲まれた子吉川の流域を中心とし、東側には、秋田県内を日本海沿岸部と内陸部に区分する出羽山地が、南側には丁岳山地が位置し、主要な山岳として、丁岳、鳥海山等が分布している。</p> <p>本計画区内の国有林野の96%が保安林に指定され、水源涵養や土砂流出防備等に重要な役割を果たしている。また、日本海沿岸のクロマツ海岸林は、飛砂防備保安林に指定され、地域社会を飛砂や強風から守る森林として重要な役割を果たしている。</p> <p>本計画区内にそびえる鳥海山周辺は優れた景観に恵まれ、鳥海国定公園に指定されるとともに、桑ノ木台湿原植生自然観察教育林など森林レクリエーションの適地も多く保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>林業・木材産業については、近隣地域に国産材を扱う日本最大級の合板工場が所在している。さらに、大規模製材工場や木質バイオマス発電施設の稼働が進むなど、木材の安定供給への期待が高まっている。</p> <p>森林の現況は、人工林を中心とした育成林面積が8千haで、スギ(82%)、カラマツ(12%)が主な樹種となっている。天然林面積は13千haで、鳥海山麓を中心にブナ、ナラ類を主とする広葉樹が分布している。また、本荘国有林等を中心に天然秋田スギやヒバ等の針葉樹も分布している。</p> <p>人工林の齢級構成については、12齢級をピークとした一山型であり、10齢級以上は約8割となっており、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後の確実な更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能、土砂流出防止機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化にも寄与するため、地域特性や現地の状況、社会情勢及び事業の評価を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、伐採と造林の一貫作業システムやエリートツリー等のコンテナ苗による更新作業、下刈の省力化や列状間伐等による保育作業の実施により低コストで効率的な作業を推進する。さらに、森林病虫害被害の防止対策</p>		

	<p>や生物多様性に配慮した森林施業に取り組む。路網整備においては、伐採搬出の作業システム等に対応した整備を行う。</p> <p>また、地元からの意見として、低コスト造林への取組及び森林病虫害防除対策について、引き続き連携していきたいとの要望があったことから、低コスト化を進めるための技術の開発・確立と連携した防除対策に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備 更新面積</td> <td>124ha</td> </tr> <tr> <td>                  保育面積</td> <td>1,830ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備 開設延長</td> <td>7.27km</td> </tr> <tr> <td>                  改良延長</td> <td>0.74km</td> </tr> </table> </li> <li>・ 総事業費           4,266,954 千円（税抜き 3,879,050 千円）</li> </ul>	森林整備 更新面積	124ha	保育面積	1,830ha	路網整備 開設延長	7.27km	改良延長	0.74km
森林整備 更新面積	124ha								
保育面積	1,830ha								
路網整備 開設延長	7.27km								
改良延長	0.74km								
費用便益分析	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">11,341,315 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">6,110,464 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">1.86</td> </tr> </table>	総便益（B）	11,341,315 千円	総費用（C）	6,110,464 千円	分析結果（B／C）	1.86		
総便益（B）	11,341,315 千円								
総費用（C）	6,110,464 千円								
分析結果（B／C）	1.86								
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>効率的な森林整備と路網整備を適切に進めることにより、森林の生物多様性の向上及び公益的機能の発揮、並びに山村の生活基盤の整備と木材生産等を通じた地域振興への寄与が期待されることから、事業実施の必要性が認められる。</p>								
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止や国土保全、水源涵養等の公益的機能を発揮し事業の実施を通じて生産されるスギ・カラマツ等の木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業に寄与することから、本事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備では、一貫作業システム、下刈の省力化等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、開設・改良により森林整備箇所へのアクセス性や集材効率を向上させるなど、効率的な森林整備と路網整備を行うこととしており、費用便益分析の結果からも本事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 森林の現況や路網の整備状況を踏まえた事業内容であり、計画的な保育等の適切な森林整備や、これと連携した路網整備により、森林の有する公益的機能を十分発揮させるものとなっているほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、本事業の有効性が認められる。</li> </ul>								

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：秋田県

施行箇所：子吉川森林計画区(由利森林管理署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,737,810	
	流域貯水便益	789,206	
	水質浄化便益	3,297,400	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,682,318	
環境保全便益	炭素固定便益	588,719	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,332	
	木材利用増進便益	15,947	
	木材生産確保・増進便益	394,583	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	829,000	
総 便 益 (B)		11,341,315	
総 費 用 (C)		6,110,464	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,341,315}{6,110,464} = 1.86$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{18,149,619}{7,928,913} = 2.29$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{23,881,655}{9,330,074} = 2.56$		

